

はりまよこた新聞

2016 新春号
2016年1月 発行

岐阜県議会議員
松岡正人
県政活動報告



県議会議員 3期目に全力投球!

4月の統一地方選挙で3選をさせていただき「初心を忘れないように頑張る」という決意で、県議会議員9年目の新しい年を迎えました。今年度は土木委員会の委員長や岐阜県土地開発公社の理事などの要職を努めさせていただき、6月と12月の定例会においては一般質問に登壇しました。中小企業支援や産業人材育成など「岐阜県の活力を生む」施策や連携、そして公共交通の活性化や救急医療体制の充実など「安全で安心な岐阜県」を目指す具体的な施策を提案しながら答弁を求めました。3期目の中堅議員として、人口減少や少子高齢化といった時代の流れに負けない、若者が未来に夢が持てるような「清流の国ぎふ」づくりと地方創生に積極的に取り組んでいきます。

当選後の県政報告会

3期目の選挙は無投票で当選させていただいたので、私の決意や公約について聞いていただく個人演説会を開催する事が出来ませんでした。そのため県政報告会を5月30日稲羽コミュニティセンター、31日蘇原コミュニティセンター、6月6日綾南福祉センター・川島河田町公民館、7日那加福祉センターの5会場で開催させていただきました。5地区5会場で300人を超える方々にご参加いただき、岐阜県政の現状や方針、私自身の議員としての活動を聞いていただくことができました。また、参加した皆さんからご意見やご要望を聞かせただけことは大変に有意義でした。今後も新聞やブログ、フェイスブックといった一方的な発信だけではなく、県政報告会を開催して皆さんからのご意見を聞く機会を大切にしていきます。

多数のご参加ありがとうございました。



土木委員会の視察

都市公園や公営住宅、道の駅や第3セクター鉄道、道路や橋梁の工事現場などを視察しました。

5月26日 中濃南・東濃方面
8月27日～28日 中濃北・飛騨方面

7月14日 岐阜・西濃方面
10月27日～29日 県外(広島・岡山・兵庫)



各務原市に関する県事業の紹介

1 かかみがはら航空宇宙博物館のリニューアル

基本コンセプト 「空・宇宙（そら）への挑み」

4つの機能を目指しています

- ① 日本の航空技術史が俯瞰できる場
- ② 子どもたちに感動を与え、夢と誇りを育む施設
- ③ 岐阜県の航空宇宙産業の力、文化を国内外へ発信する拠点
- ④ 岐阜県における観光拠点施設

概算予算内訳

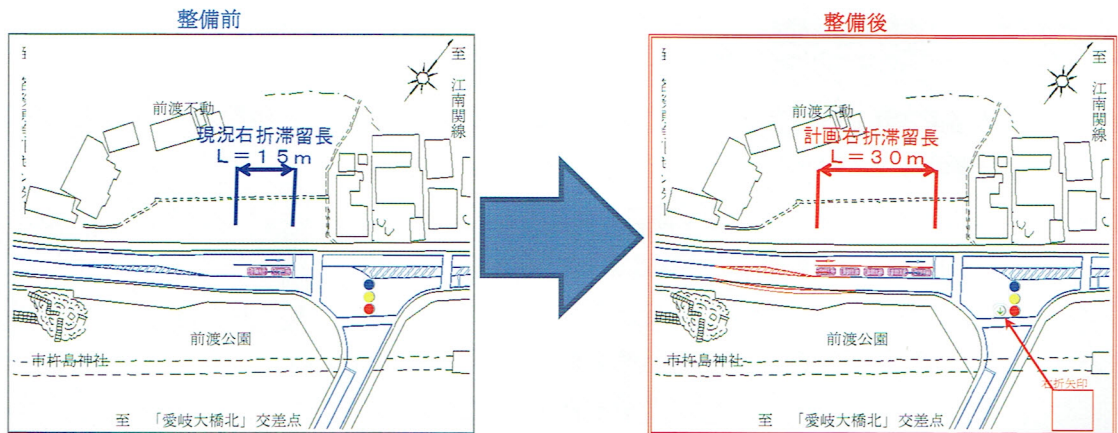
施設・建物など	約 18 億円	展示品の拡充等	約 12 億円
岐阜県負担	約 20 億円	各務原市負担	約 10 億円



平成 30 年 4 月オープン、約 30 億円の予算で増築・改修と展示に関して充実されます。「岐阜県成長・雇用戦略」において、「航空宇宙産業の製品出荷額倍増プロジェクト」を最重要プロジェクトに位置づけており、人材育成の強化、生産拡大の支援、航空宇宙産業のPRなどに取り組んでいます。

2 主要地方道芋島鷯沼線（「浄水公園東」交差点）の改良について

時差式信号機への変更と交差点改良によって、東向きの車の混雑が緩和されます！



右折レーンが長くなります
信号機に右折矢印がついて、右折がしやすくなります。

その他に取り組んでいること

- ・ 各務山地区の工業団地建設の推進
- ・ 各務原市内の高等学校に工業科クラス(航空宇宙関連)の設置
- ・ 基盤整備事業（新愛岐大橋、日野岩地大野線、犬山東町線など）

各務原市からいただいているご要望を実現できるように積極的に取り組みます！

3 期目の挑戦（平成27年4月の選挙）



無投票で当選させていただきました。皆様のご支援に感謝申し上げます。

やらなあかんブログより抜粋

やらなあかんブログ

検索



5月25日 中小企業支援

6月の定例会にむけて自民党岐阜県連の政務調査会で、「中小企業の支援に関する条例」を提案することを考えています。一昨年の秋に金融庁から地方の銀行に対して地域貢献を考えた地元企業に対する積極支援の通達が出されましたが、なかなかうまくいってないと感じます。今日も午後からビルメンテナンス協会の若手幹部職員の皆さんに県政報告させていただくとともに、業界の現状や要望について意見交換させていただきました。私は中小企業の活力なくして地方創生はないと考えており、特に若い世代の人々にいろいろな意見やご提案をいただきたいと思っています。

6月12日 各務原市との懇談会

「県施策等に関する要望事項」を議題として、三人の各務原市選出の県議会議員と市議会正副議長、各務原市長と幹部職員の参加で懇談会が行われました。例年行われていますが、今年から市議会の正副議長が参加したこともあって色々なご意見や要望が出たり、県議会議員に対して説明が求められて活発な懇談会となりました。要望項目についても数件増えて、私が取り組んできた工業団地の要望についても今年初めて項目に加わっていましたが、まだまだ情報収集不足の感じがありました。午後からは岐阜土木事務所を訪問して、各地の県政報告会で参加者の皆さんから頂いた要望事項について説明するとともに、各務原市からの要望についてもお伝えしました。

7月24日 都市建設

今日は午前中に第131回各務原市都市計画審議会、午後から都市建設事業推進会議と2つの都市建設関連の会議に参加しました。都市計画審議会では、各務原市都市計画マスタープランの説明を受け、少子高齢化や人口減少に向けて大型団地の対策と小学校区ごとの施策の必要性を意見しました。都市建設事業推進会議では、県の岐阜土木事務所に対して要望を行い、私からも日野岩地大野線や岐阜犬山線などの要望に加えてコミュニティバス路線を考えた県道の整備の必要を訴えました。二つの会議の間に岐阜で行われていたビルメンテナンス協会の定時総会に参加して、災害協定や特別支援学校との就業支援協定などのお礼を述べました。

8月5日 戦後70年

毎年8月になると戦争やそれに関するドキュメントやドラマが多く放送され、それに違和感を感じる若者が多いという記事を目にしました。私は高校時代に「二百三高地」という日露戦争を描いた映画を見て、凄く衝撃を受けた記憶があります。国会では平和安全法案が議論されていますが、世論では十分な議論や説明がされていないという結果が出ているようです。戦後70年という節目の年であり、国会だけではなく私たちも今後の日本の在り方をしっかりと議論する必要があると感じます。

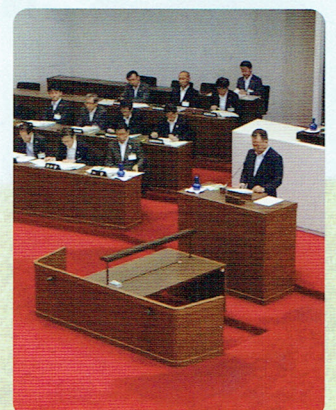
8月27日 土木委員会・県内視察

土木委員会の県内視察として今日と明日の日程で郡上八幡、下呂、高山、白鳥方面の数カ所が予定されています。今日は、郡上八幡の伝統的建造物保存地区歴史まちづくり事業の街並みと濃飛横断自動車道の和良金山トンネル及び金山下呂トンネルを視察しました。ゆっくりと郡上八幡の古い街並みを散策することも工事中のトンネルを見学することも初めてだったのでエキサイティングでした。土木委員会の視察は現場で見た説明を受けることがほとんどで残暑がこたえる視察になりました。



9月17日 平成27年第4回岐阜県議会定例会 開会

改装されてずいぶん明るくなった議場で今日から県議会の定例会が開会され、予算関係5件と条例その他案件15件、決算認定3件の併せて23件の議案が上程されました。古田知事から上程議案の説明とともに県政を取り巻く状況についての説明が行われ、その冒頭に「かかみがはら航空宇宙科学博物館」のリニューアルについて説明が行われました。平成29年度中に完成を目指しており、「空・宇宙への挑み」を中心コンセプトとする基本構想を策定して地方創生交付金の上乗せ交付分の獲得を目指しているとのことでした。午後からは「第3回養老鉄道等存続対策検討委員会」に出席しましたが、土木委員長としても公共交通機関の積極的な取り組みをしていきたいと思っています。



10月29日 土木委員会・県外視察

県外視察の最終日は宿泊地の姫路のホテルを予定より早く出発して、姫路城に少し立ち寄ってから加西市の北条鉄道の播磨横田駅に行って第三セクターの取り組みをお聞きしました。昼食を神戸の中華街でいただいた後に神戸市の市営住宅の一室を高齢者の見守りやコミュニティー施設に転用して、民間法人が運営している取り組みの説明を受けて色々な質問をさせていただきました。今回の視察の私なりの大きなテーマは県営住宅の活性化であり、子育て支援施設や高齢者の支援施設を併設している公営住宅で色々な情報や必要性を認識でき今まで提案してきたことに自信が持てました。姫路城では映画のロケのエキストラ、そして新大阪駅では初めてドクターイエローに遭遇して、大変に運の良い県外視察になりました。



11月8日 海外視察を終えて

ロンドンとパリでのハードなスケジュールな視察が終わり、日本に向けてドゴール空港にいます。大きなトラブルもなく8人のメンバーそれぞれに視察の成果を感じているのが、食事中や移動中の会話で伝わってきます。今回の私たちの視察は、①岐阜県への観光客誘致や美濃和紙や飛騨牛などの県産品の販路拡大を目的とした知事との同行、②イピデンやユーマニティ、タウンセントリックなどの私たちのグループ独自の視察行程の2つの大きな目的がありました。双方ともバランスがとても良かったように感じます。



ヨーロッパで数日間滞在して感じたことは、人種のつぼで多国籍な国民が混在していて、昨今の移民や難民が非常に大きな問題になっているということが雑然とした街から感じ取ることができました。もう一つは、歴史的な街並みを重視して景観が非常によく保たれていることでした。観光地でもある大都会ロンドンとパリは、電線の地中化や紅葉した大きな街路樹で素晴らしい景観が保たれていて、バスが渋滞しても苦痛に感じることなくむしろ景色を楽しめました。視察先での学びにとどまらず、街並みや建築様式、道路事情や通行人の様子など、見ることに新鮮でいろいろなことを感じました。

少子高齢化と人口減少が大きな課題である日本は、ヨーロッパのように外国人労働者や移民を受け入れるのかどうかを選択しなければならない時期がくるのではないかと思います。治安や文化の維持、教育や社会福祉の問題などをも



う少しヨーロッパ諸国に学ぶべき時だと思います。

観光客の受け入れ推進については、「日本は安全に安心して旅が楽しめる」ということがアピールできると思えました。そして行政と県民が一丸となって観光資源の掘り起こし、語学ボランティアや県民の英語力の向上を目指す必要を感じました。県産品の販路拡大については、もう少し市場ニーズの調査とパイヤーとの関係構築が早急の課題だと思います。

まちづくりについては、タウンセントリックの取り組みと住民へのアピールや意識付けは大変勉強になったので県政や市政に反映できればと思います。ユーマニティで学んだ介護のテクニックや制度は、いまいちど日本で情報を集めて、関係者の意見もお伺いしたいと思います。



今回の視察で感じたことや学んだことを帰国後に改めて情報を収集して、岐阜県や各務原市の発展につながるよう頑張りたいと思います。

10月30日 政務調査会・要望の直接聴取



自由民主党岐阜県支部連合会の政務調査会で来年度予算に対する要望を直接聴取する会議が岐阜県連の大会議室で行われました。午前中は「友好団体連絡協議会」において友好団体から、午後からは「地方自治連絡協議会」で県内市町村の首長さんや議長さんから要望を聴かせていただきました。午後の「地方自治連絡協議会」では会長として議長を務め議事運営をしましたが、多くの首長から土木関連の箇所付けの要望ばかり続き、もうすこし多岐にわたる要望をしていただくように進めました。地方創生を国では推進しようとしていますが、市町村にとっては「人口減少」や「少子高齢化」などの課題が多く県議会としては国や県とのパイプ役として役割を果たさなければと思います。

12月12日 自民党岐阜県連・政治塾

午前中は上戸町のシニアクラブの忘年会に参加して、午後からは自民党岐阜県連の政治塾で講師をさせていただきました。塾生の半分くらいは知っている人でしたが、5期目を迎えるこの塾も新しい顔ぶれが増えたと感じました。自己紹介と日頃の活動の紹介、議員になったきっかけや後援会活動など、約1時間の講義してから質疑を受けました。市町の議員さんも多く積極的な質疑があって皆さんの真剣さが伝わってきましたが、私の講義で満足いただけただけが少し不安です。



毎日更新しています。

facebook とともに是非ともご覧いただき、ご意見をお寄せ下さい。



岐阜県における地方創生

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

基本的視点

「清流の国ぎふ」創生への挑戦

右肩上がりの社会のそれとは異なる新たな価値観の下、地域を新しく創り変えるため、次の2つの視点から人口減少に挑戦

①「人口減少そのものへの挑戦」
子どもを生みたい人の希望をかなえることなどにより、人口減少自体を解消しようとする試み

②「人口減少社会への挑戦」
人口減少は当面継続することを正面から受け止め、人口減少に伴う地域の変化に柔軟に対応し、人の流れを地方に向けて変えようとする試み

計画期間

おおむね5年間
(平成27年～31年)

推進体制

①PDCAサイクルの構築
重要業績評価指標(KPI)により政策の効果を検証し、改善を行うPDCAサイクルを構築

②県民参加による推進
○県民や議会の意見を十分に踏まえて、取組を実施
○「ぎふ創生県民会議」において戦略の立案・推進・評価を実施

基本目標

1.ひとを育て

結婚から子育てまで切れ目のない支援を行うことにより、結婚・子育ての希望をかなえる。
○成果指標P

2.しごとをつくる

新たな仕事や雇用を産み出すことにより、人口の県外流出を食い止める。
○成果指標P

3.岐阜に呼び込む

移住・定住の促進や企業等の誘致を通じ、地域の将来を支えるひとを呼び込む。
○成果指標P

4.安心をつくる

人口・世帯構造の変化に適応し、暮らしの安心をつくる。
○成果指標P

5.まちをつなぐ

市町村と県とが連携するとともに、多様な地域間連携を推進することで、地域の課題解決を図る。
○成果指標P

主な施策

1.ひとを育て

(1)結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援
①非婚化・晩婚化対策
②妊娠を望む夫婦の経済的負担の軽減
③子育て支援の充実
④子育て世帯・多子世帯に対する経済的支援

(2)ワーク・ライフ・バランスの推進
①仕事と家庭の両立支援
②女性の活躍支援

2.しごとをつくる

(1)「岐阜県成長・雇用戦略」の推進
①企業支援機能の強化
②航空宇宙産業の製造品出荷額倍増
③成長分野のイノベーション
④地域経済の担い手の育成・確保
⑤若者・有能なもののづくり人材の確保・流出防止
⑥障がい者の一般就労拡大

(2)観光産業の基幹産業化
①国内外からの観光誘客
②主要観光地の再生
③「岐阜の宝もの」(地域資源)の活用

(3)県産品の販路拡大・海外展開
①県産品の販路開拓
②農林畜産物の販路開拓

(4)未来につながる農業づくり
①農業生産基盤の強化
②農業の6次産業化の推進
③農業の担い手の育成・確保
④「里川(さとがわ)システム」の世界農業遺産認定に向けた取組推進と保全

(5)生きた森林づくり(林業の成長産業化)
①森林経営の合理化
②優良県産材の供給倍増
③木質バイオマスエネルギーの利用拡大

(6)スポーツによる地域活性化
①スポーツによる地域振興(地域スポーツの推進)
②トップスポーツの推進
③障がい者スポーツの推進

(7)文化・芸術の振興
①地域の文化財・民俗芸能の保存・継承

3.岐阜に呼び込む

(1)移住・定住の促進
①首都圏を中心とした移住・定住の情報発信
②地域のニーズに対応した移住者受入体制の構築

(2)企業誘致等の促進
①企業の誘致と県外流出の防止

(3)大学との連携
①大学との連携促進

4.安心をつくる

(1)暮らしの安全・安心の確保
①地域コミュニティの再生と活性化
②都市のコンパクト化と交通ネットワークを活かしたまちづくり
③空家等対策の推進
④公共施設等の戦略的な維持管理
⑤地域防災力の強化

(2)医療と福祉の充実・連携
①医療と福祉の連携
②地域医療の充実
③救急搬送・受入体制の確保
④地域における福祉の支え合い活動の促進

5.まちをつなぐ

(1)県内の地域間連携の推進
①広域観光の推進
・関ヶ原古戦場を核とした広域観光の推進
②産業の振興
・かかみがはら航空宇宙科学博物館の魅力向上
③防災対策の強化
④移住・定住の促進
⑤医療・福祉・教育の充実
⑥圏域・地域ごとの多様な連携の推進

(2)近隣県との連携推進
①広域観光の推進
②航空宇宙産業の振興
③医療連携の推進

岐阜県人口ビジョン

現状

平成17(2005)年以降本格的な人口減少時代に突入

○平成12(2000)年をピーク(210.7万人)に人口減少が継続
○このまま続けば2040年には約158万人、2100年には63万人に減少
○合計特殊出生率は上昇傾向(H17年1.37→H22年1.48)にあるが、既に人口減少が進んでいるため、出生数は減少(自然減が継続)
○平成10年以降、県外への転出超過も継続(社会減が継続)

人口減少の影響

年齢構成も大きく変化し、地域を支える現役世代(15歳～64歳)の人口は、2010年から2040年にかけて129万人から84万人に減少

・経済規模の縮小
・社会保障制度の維持が困難
・地域社会衰退が懸念

分析

①自然減対策
出生率を向上させ人口の自然減を食い止める必要

○子どもを生み育てやすい環境づくりを進め、若年層の結婚・子育ての希望をかなえる

②社会減対策
人がとどまり、呼び込める環境づくりが必要

○社会移動の約6割が県外
・主に職業上の理由で、特に隣県(愛知県)への転出が1/3を占めている
・進学者のうち、約半数が愛知県に進学する一方東京への転出はわずか6%
・県内大学生の6割は県外出身者、大学が他県から人を吸引している
・住宅事情を理由として転入した人の約8割が愛知県から

③地域の状況に応じた丁寧な対応が必要

○社会移動の約4割が県内市町村間(昼夜間人口比率の高い都市を中心に、近隣市町村から人が流入)
○県内市町村は、通勤圏と社会移動の状況から5つの型(*)に分類

地域の状況に応じた丁寧な対応が必要
(※①ダム機能都市型、②ダム機能都市通勤圏型、③愛知県通勤圏型、④ハイブリッド型、⑤自己完結型)

「清流の国ぎふ」創生への挑戦
(目指すべき未来)

右肩上がりの社会の価値観ではない、新しい価値観を持ち、地域を新しく創り変える

1.自然減対策(出生率向上による人口の維持)

2030年に1.8、2040年に2.07に向上した場合を試算すると、2100年頃には132万人程度で安定した人口維持が可能

2100年に、人口130万人を維持させるための政策を展開

2.社会減対策(地域間連携の促進)

県内の各地域が持つダム機能を強化し、人の流れに関わる自治体間で連携

地域の実情を踏まえた連携を実施し、その地域に必要な政策を重点的に推進

「清流の国ぎふ」づくりのさらなる加速・全面展開

平成27年の一般質問

<http://www.pref.gifu.lg.jp/gikai/teireikai/> で詳しく見ていただけます。
(岐阜県のホームページ)



平成27年3月12日 第1回定例議会にて

1. 少子化による小中学生のスポーツ活動への影響と対策について

- (1) 減少傾向にあるスポーツ少年団の必要性や役割、今後さらに進む少子化による影響に対するの施策について
- (2) トップレベル選手育成をめざす小学生スポーツへの選手強化施策の現状と課題について
- (3) レベルや技術向上を求めるクラブチームの役割と課題について

清流の国
推進部長

- (4) 中学生の生徒数の減少による運動部活動への影響や課題について
- (5) 中学生のスポーツ活動の多様なニーズにこたえる部活動の今後の方向性と、それに対する教育委員会の施策について

教育長

2. 在宅医療の推進について

- (1) 在宅医療を推進する上での課題について
- (2) 在宅医療を推進するための支援について

健康福祉
部長

3. 公契約条例について

商工労働部長

平成27年7月2日 第3回定例議会にて

1. 中小企業の人材確保に向けた県のバックアップについて

- (1) 県行政として県内中小企業の人材確保に対して果たすべき役割について

知事

2. 若者の県内就職の促進に向けた取組みについて

- (1) 県内外の大学生の県内就職促進のための大学と連携した今後の取組みについて
- (2) 「岐阜県地域しごと支援センター」における県内就職促進に向けた具体的な取組みについて

商工労働
部長

3. 製造業を担う産業人材育成について

- (1) 小中学校における取組みについて
- (2) 県内工業系高校と企業や試験研究機関などとの連携した取組み状況及び今後の取組みについて
- (3) 工業系高校の定員や配置、カリキュラムの見直しなどといったキャリア教育の改革について

商工労働
部長

教育長

4. 岐阜を愛する心を育むふるさと教育について

- (1) 「ふるさと教育」の実施状況とその成果を踏まえ、今後の各学校における実践の充実について
- (2) 副教材作成事業「Welcome!Gifu Land of Clear Waters」について

教育長

平成27年12月10日 第5回定例議会にて

1. 公共交通機関の役割と現状、課題について

- (1) 公共交通機関を維持して行くための財政上の影響について(市町からの要望をうけて)
- (2) 県庁職員の自家用車通勤の見直しについて(県庁舎立替に際して見直しする必要性)

知事

2. 地方創生における金融機関との連携について

- (1) 信用金庫との連携の現状と今後の方針について
- (2) 金融機関との連携にかかる仕組みづくりとそれに対して県が期待することについて
- (3) プロフェッショナル人材戦略拠点の運営にかかる金融機関との連携について

清流の国
推進部長

商工労働
部長

3. 救急医療体制の更なる拡充について

- (1) メディカカードの県内各地への普及にむけた具体策について
- (2) 救急救命士の運用状況に関する認識について

健康福祉部長
危機管理部長

- (3) 救急救命士の教育、研修体制にかかる再教育を含めた取り組みについて

危機管理部長



まつおかまさと

松岡正人事務所

[事務所]

〒504-0908

岐阜県各務原市那加織田町2-5-1

[TEL] 058-389-6665

[FAX] 058-389-6676

[E-mail] shiawase@yaranaakan.jp



HAPPY COMMUNICATION